



関屋分水 通水50周年

The Sekiya Diversion Channel 50th Anniversary

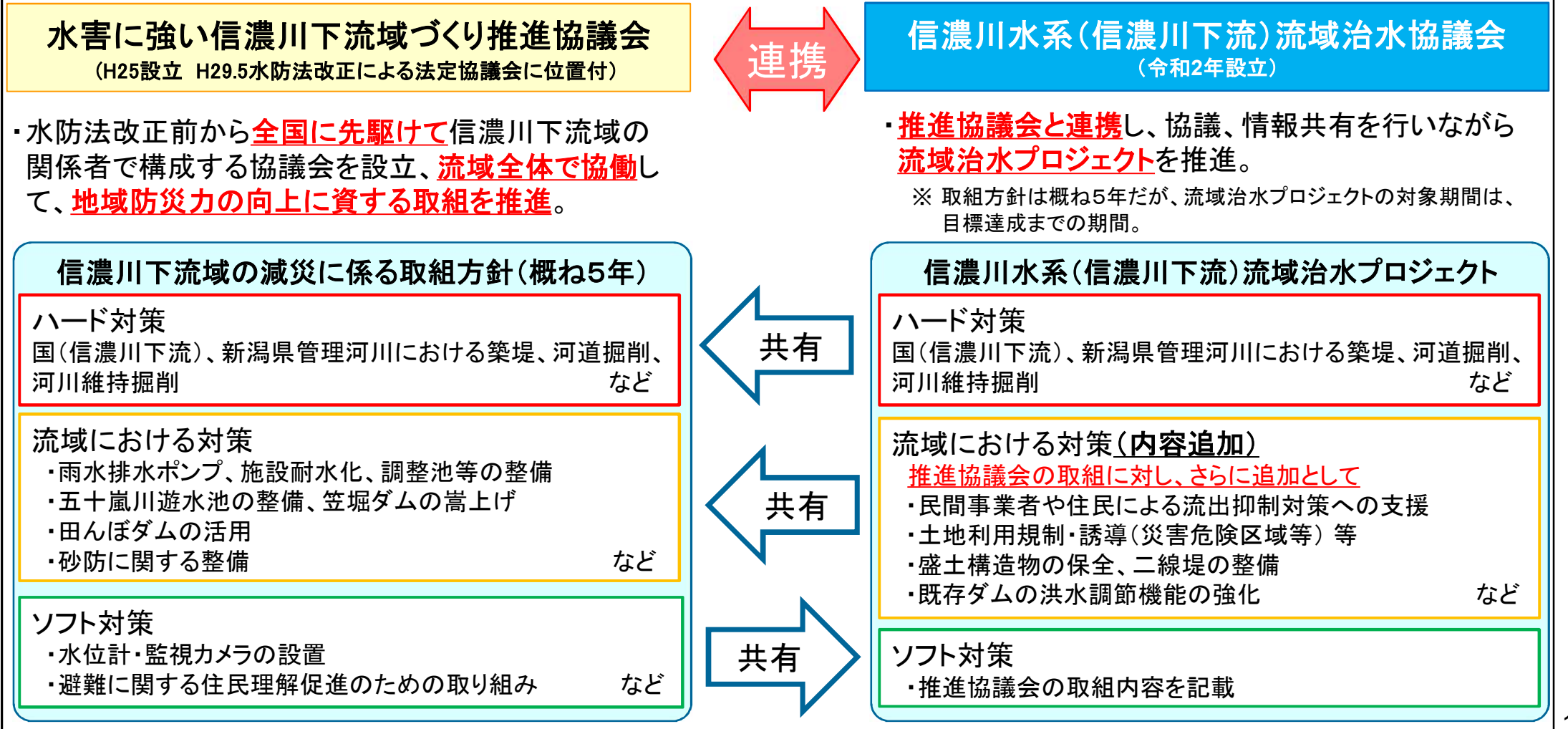
信濃川下流河川事務所の 令和4年度の主な事業について

国土交通省 北陸地方整備局

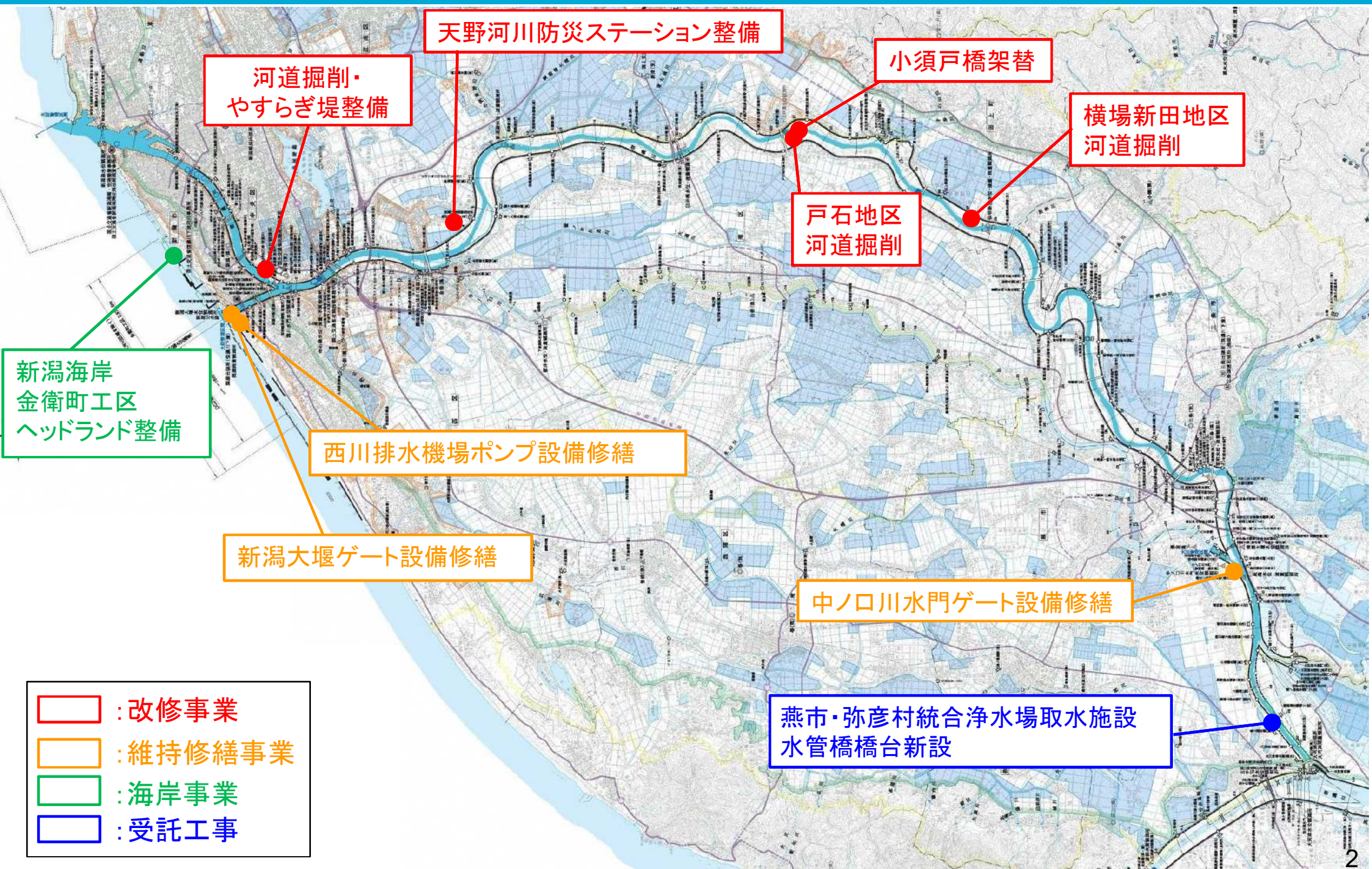
信濃川下流河川事務所

信濃川下流域の治水を担う協議会

- 信濃川(下流)では、平成16年、23年と度重なる洪水被害を受け、**信濃川下流域のもつ課題を共有し、協働して、関連各機関との情報共有や連携を深め、より地域の防災力を高めることを目的とし、地域住民の安全安心を担う管内の国、県、市町村で構成される「水害に強い信濃川下流域づくり推進協議会」**(以下、「**推進協議会**」という。)を平成25年に設立。
- 令和元年東日本台風など毎年のように発生する豪雨災害を受け、信濃川下流域においても発生しうるものとして**流域全体の治水対策を推進**するため、「**信濃川水系(信濃川下流)流域治水協議会**」を令和2年設置。



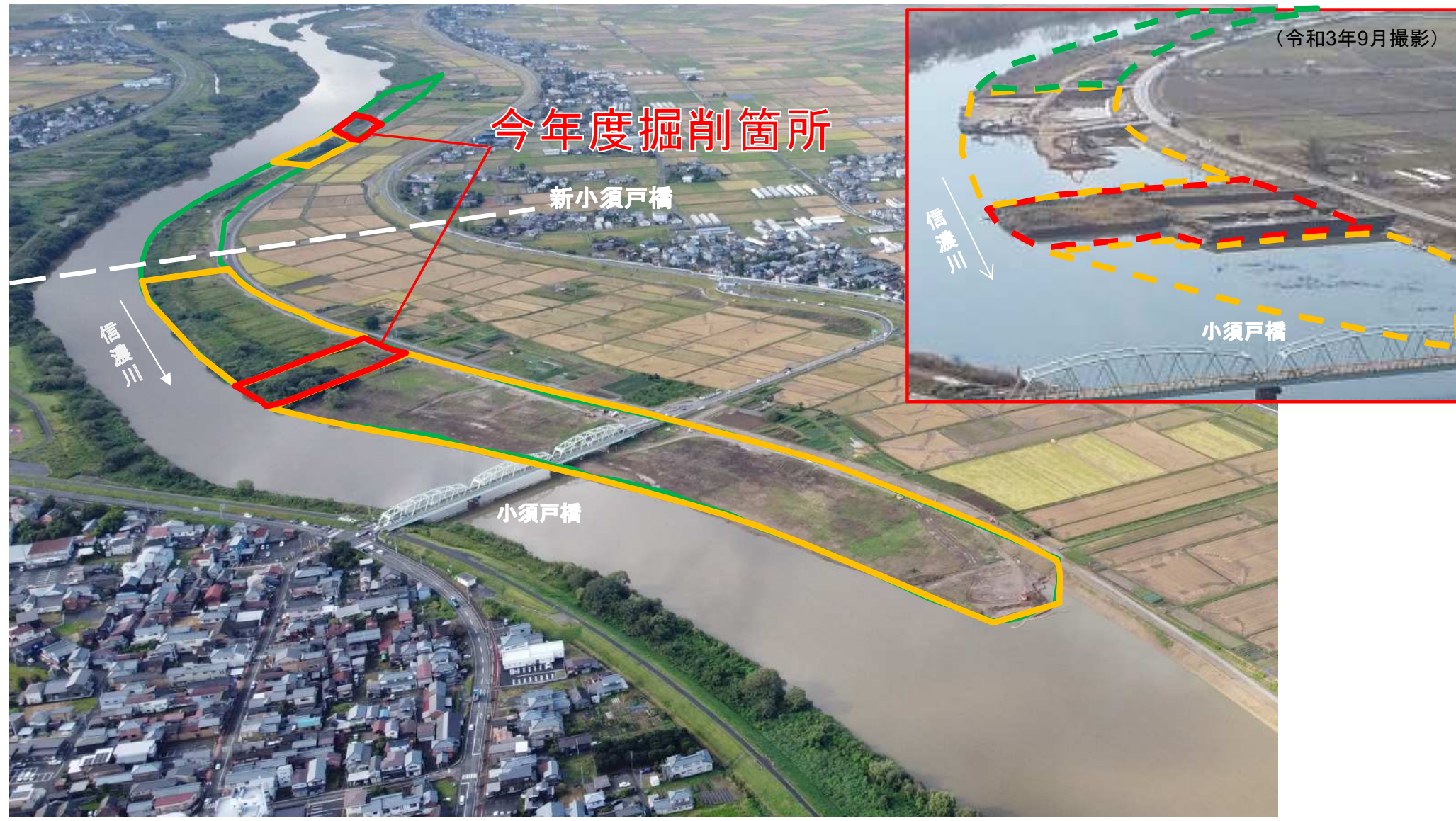
令和4年度 信濃川下流河川事務所の主要事業実施箇所



- : 改修事業
- : 維持修繕事業
- : 海岸事業
- : 受託工事

戸石地区 河道掘削 【工事実施中】

○ 新潟市南区戸石地区において、洪水時の水位を低減し、洪水を安全に流すため、約65万m³の河道掘削を行っており、令和4年3月末現在で約5割まで進捗しています。



 : 掘削済み箇所 : 令和4年度掘削箇所 : 全体掘削予定範囲

横場新田地区 河道掘削 【工事実施中】

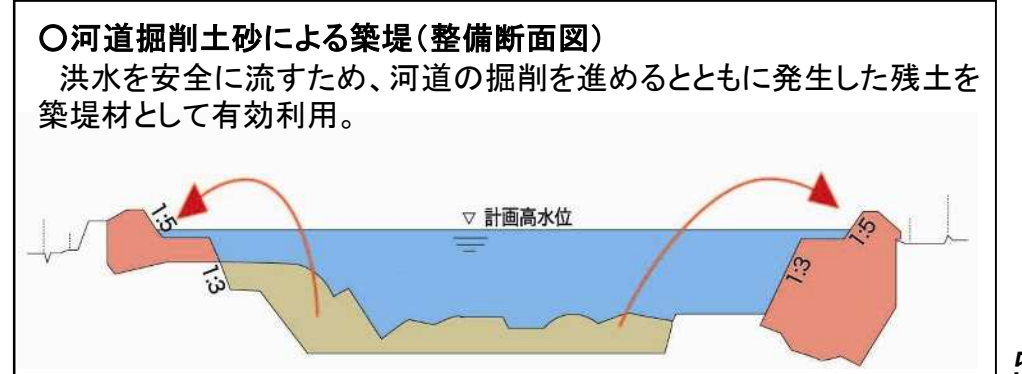
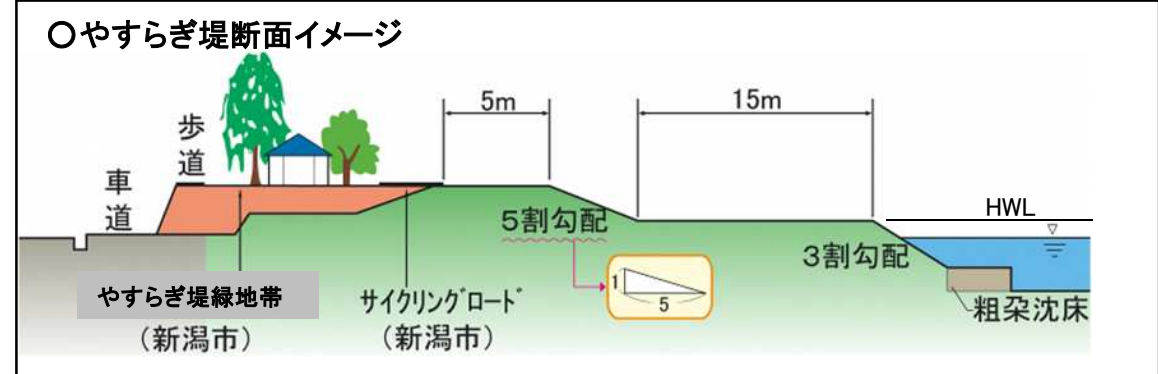
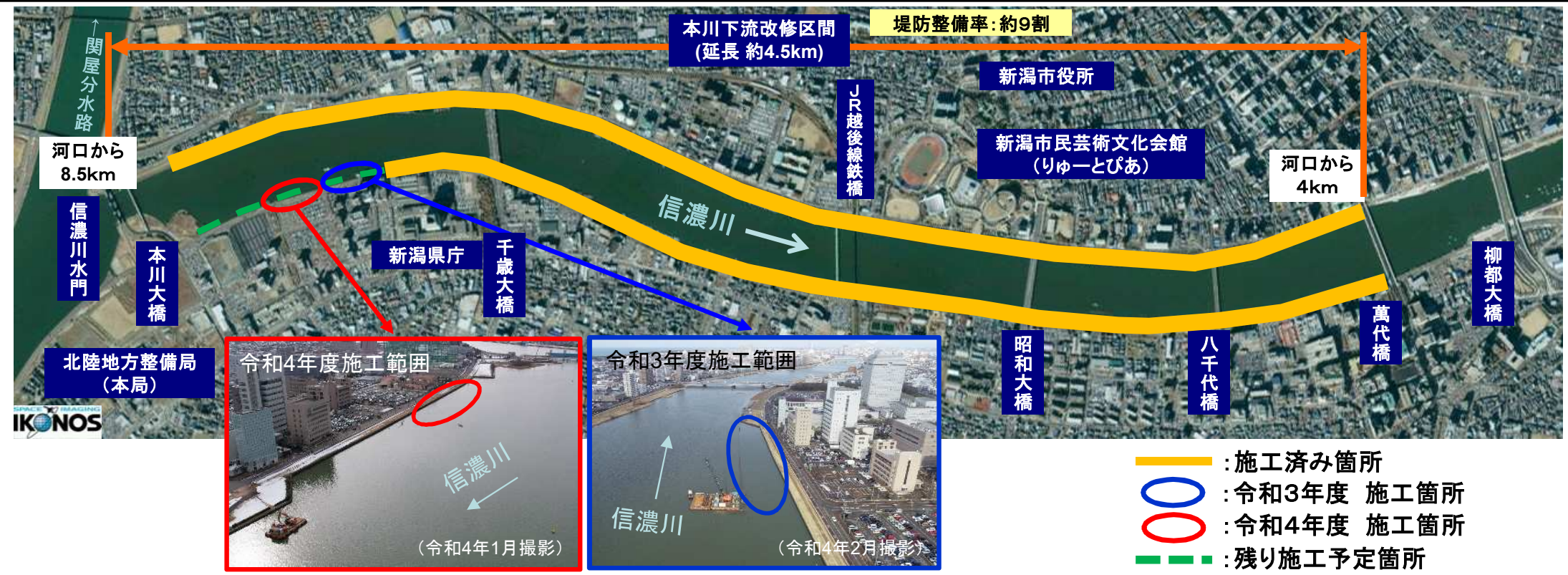
○ 田上町横場新田地区において、加茂川等の支川合流部における洪水時の水位を低減し、洪水を安全に流すため、約73万m³の河道掘削を行っており、令和4年3月末現在で約3割まで進捗しています。



 : 掘削済み箇所  : 令和4年度掘削箇所  : 全体掘削予定範囲

やすらぎ堤の整備【工事実施中】

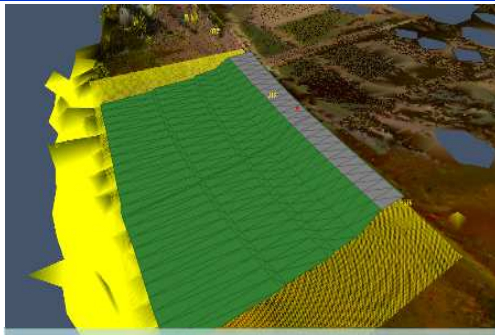
- 河口から4km～8.5kmの間では、都市部を流れる河川の親水性や景観を高めるため、5割勾配のゆるやかな堤防「やすらぎ堤」の整備を進めています（堤防整備率：約9割）。
- 水辺利用の一層の活性化に向け、にいがた2kmと連携をしながら、水都新潟の地域活性化を支援します。



インフラ分野におけるデジタルトランスフォーメーション(DX)の推進

- インフラ分野においても、データとデジタル技術を活用して、業務そのものや、組織、プロセス、建設業の文化・風土や働き方を変革し、安全・安心で豊かな生活を実現に向け、取り組んでいます。
- 河道掘削においては、ICT土工・ICT浚渫※などに取り組んでいます。 ※浚渫…川底の土砂やヘドロを取り除くこと

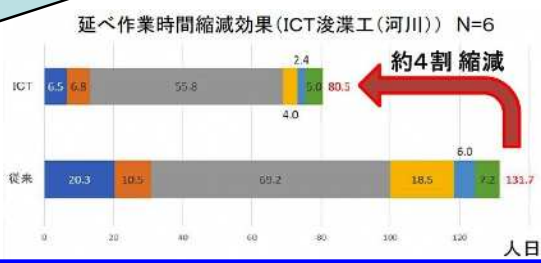
河道掘削におけるICT技術の活用



3次元測量、3次元設計データ作成



マシンコントロールによるICT掘削



スマートグラス等を活用した遠隔臨場



スマートグラス所内講習会の様子



遠隔臨場 (段階確認)



ウェアラブルカメラによる現地立会

MR技術



屋外型MRシステムによる設計の現地確認

BIM/CIM



3次元モデルを用いた施工イメージの確認

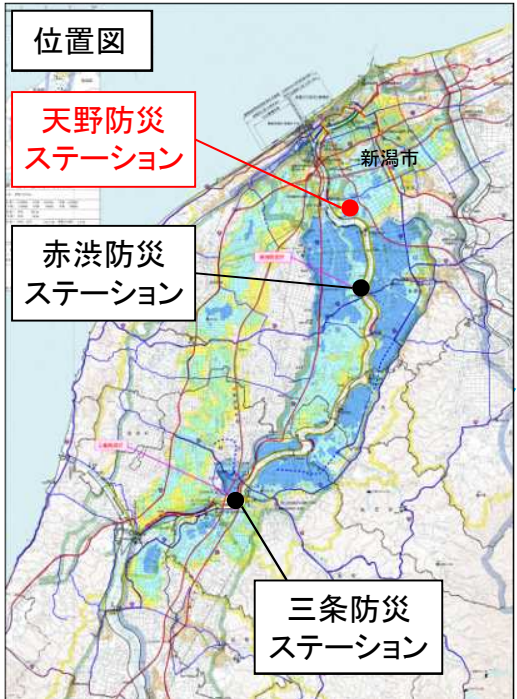
小須戸橋架替 【工事实施中】

- 新潟市南区小須戸地区において、堤防高の不足と洪水流の阻害要因となっている小須戸橋(もぐり橋)について、道路管理者である新潟市と連携し、堤防の嵩上げ及び橋梁架替を行い、信濃川下流域の治水安全度の向上を図ります。
- 令和元年度に道路管理者である新潟市と施行協定を締結し、令和2年度より、小須戸橋架替工事に着手しています。令和4年度は、左岸取付道路地盤改良工事、P3橋脚工事を実施します。

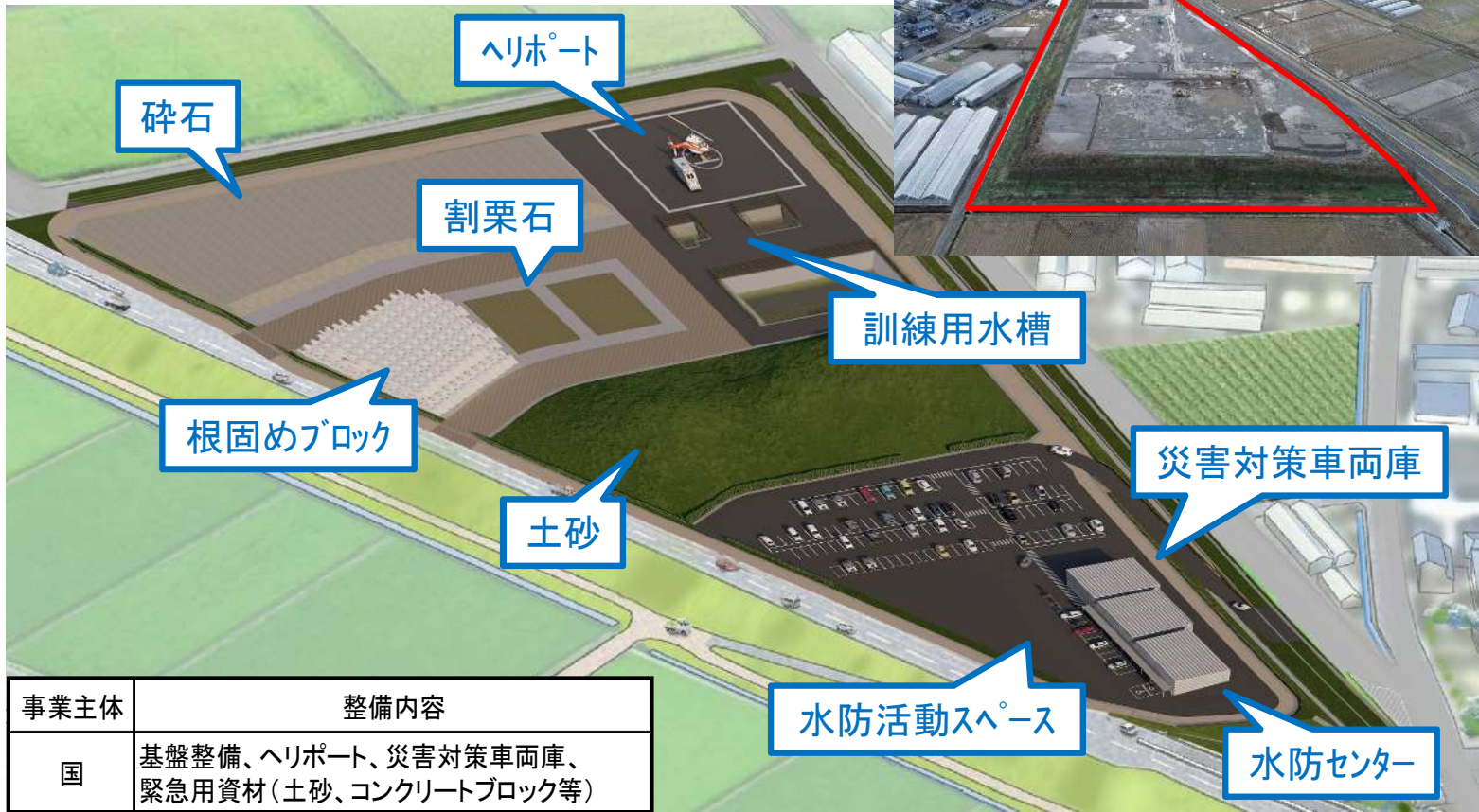


天野河川防災ステーション整備 【工事实施中】

- 危機管理体制を強化し、水防活動や災害復旧活動を円滑に実施するとともに、平時には防災教育や地域の賑わいの拠点となる防災ステーションを、新潟市江南区天野地区に整備しています。
- 防災ステーションには、ブロックや土砂・砂利などの水防資機材の他、災害対策車両庫及び新潟市の水防団待機室等(水防センター)を配置予定です。
- 令和4年度は、災害対策車両庫、水防センター等の施工に着手し、令和5年度中の開所を目指します。



イメージパース (Image Perspective)



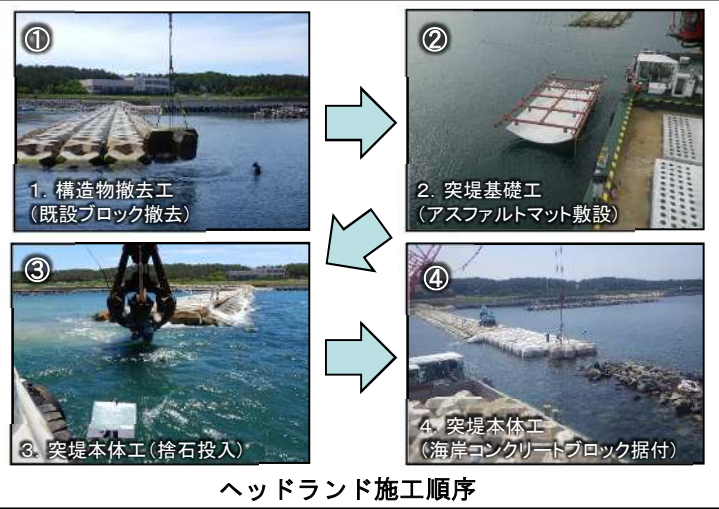
○信濃川下流域で3つ目の防災ステーションです。

- ① 三条市上須頃
- ② 新潟市南区赤渋
- ③ 新潟市江南区天野

事業主体	整備内容
国	基盤整備、ヘリポート、災害対策車両庫、緊急用資材(土砂、コンクリートブロック等)
新潟市	水防センター

新潟海岸(金衛町工区) ヘッドランド整備 【工事実施中】

- 侵食対策として、第1工区の第2号ヘッドランド延伸と第3工区の第4号ヘッドランドの完成を目指します。
- 金衛町第2工区の砂浜復元を行う養浜工事を推進します。
- 海上工事の基地であるブロック製作ヤードの再整備を引き続き行います。



水防災教育等の取り組み

- 水害に強い信濃川下流域づくり推進協議会では、小中学校における水防災学習のための支援をしています。
- 環境学習、防災学習などの支援として、職員による出前講座やマイ・タイムライン作成支援講習会を実施しています。

水防災教育

- 平成30年度
- ・支援対象の学校側との打合せを行った上で、既存ツールを用いた学習を実施。
 - ・必要なツール、指導ポイントを記載した水防災学習の指導計画となる防災教育資料(案)を作成



- 令和元年度
- ・前年度の支援を受けて、学校が独自に水防災学習を自校化し実施。
 - ・流域内市町村の教育委員会、防災担当課に共有し、学校での活用を依頼



- 令和2年度以降～
- ・流域内市町村での取組事例や実績をベースに、各学校の地域特性、ニーズに応じた水平展開を支援

出前講座

- ・小中学校に限らず、地域団体も含め職員による出前講座を実施。
- ・令和4年度は、6団体から申込みがあり、職員を派遣。



申込書は信濃川下流河川事務所ホームページよりダウンロード可能です。
http://www.hrr.mlit.go.jp/shinoge/sogo_gakusyu/sougou_moushikomi.html

マイ・タイムライン

- ・流域市町の住民を対象に、避難行動の一助とすべく、マイ・タイムライン作成支援講習会を実施します。

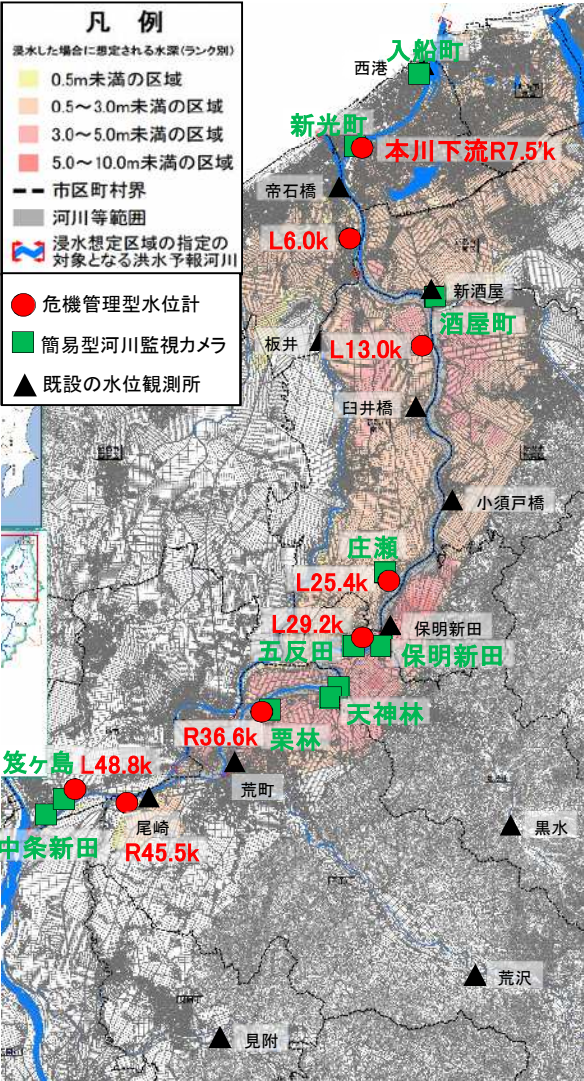
マイ・タイムラインについての詳細は国土交通省ホームページをご覧ください。
<https://www.mlit.go.jp/river/bousai/main/saigai/tisiki/syozaiti/mytimeline/index.html>



避難行動等の支援の取り組み

- 川の状況をリアルタイムで把握できるよう『危機管理型水位計』『簡易型河川監視カメラ』を設置
- 水位情報やカメラの映像は『川の防災情報』でご覧いただけます。
- 近年、各地で洪水による大規模な被害が発生していることを受け、これまでの想定最大規模に加え、**多段階頻度に対するリスクマップ**を作成し、**地域の水害リスク**をよりわかりやすく発信しています。

観測機器等の設置箇所



川の防災情報(表示例:パソコン画面)

川の防災情報

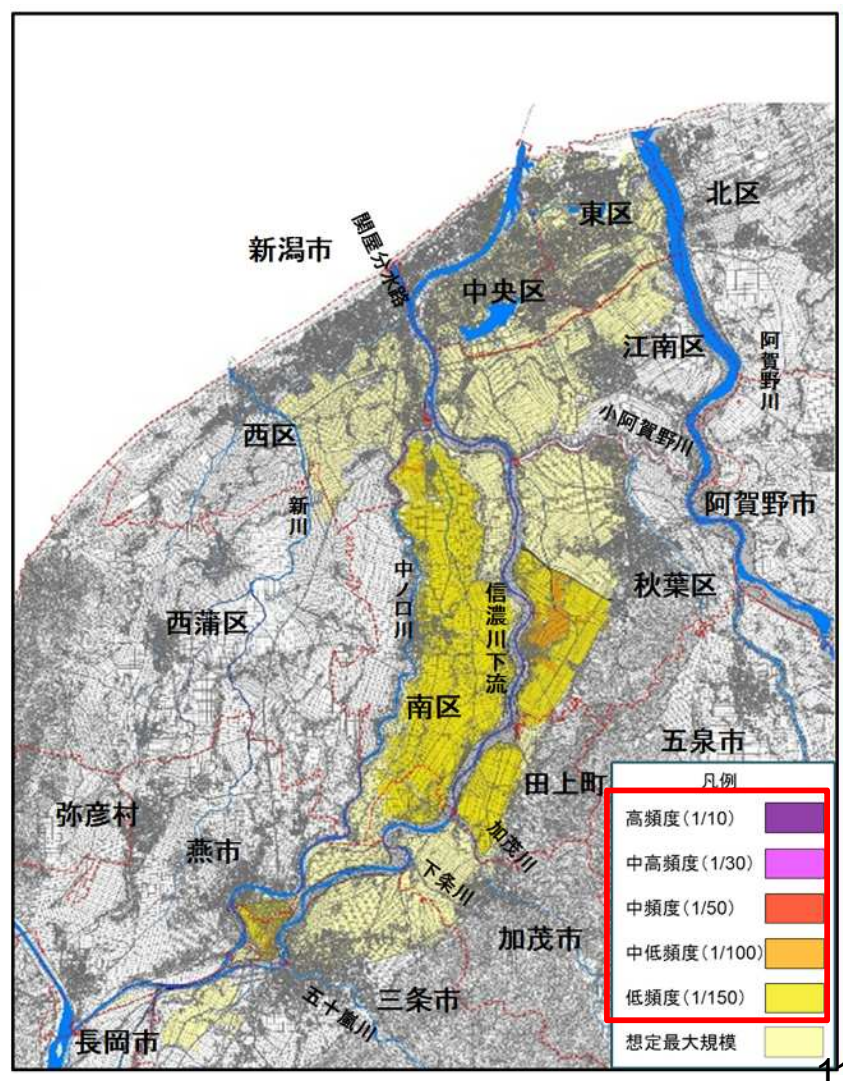
水位や川の状況情報をリアルタイムで確認できます。

カメラアイコンを選択

川の水位変動をグラフで確認できます。

<https://www.river.go.jp>

多段階頻度に対するリスクマップ



- 1972年(昭和47年8月10日)に通水した関屋分水は、2022年(令和4年8月10日)に50周年を迎えます。
- 大切なふるさとの川・信濃川の豊かな恵みに感謝しつつ、先人の努力を讃え、関屋分水が地域の皆様に理解され、未来へ引き継いでいくために、様々な周知活動を行っています。

1972年(昭和47年8月10日)関屋分水 通水式



新潟大堰ゲート開き

工事の移り変わり



工事前



工事中



現在の関屋分水

シンボルマーク(令和3年3月決定)



関屋分水

The Sekiya Diversion Channel

シンボルマークのコンセプト

日本海に沈む夕日(橙)にむかって、広くおおきな越後平野(緑)に流れる信濃川(濃青)。信濃川から分岐して日本海に流れこむ関屋分水路(薄青)。そして、関屋分水によって整備された新潟の都市基盤(茶色)。

関屋分水が新潟市域を守り、安らぎを与える存在であることを表現しています。

主な周知活動



けんせつフェア北陸



ミズベリング三条



アルビレックス新潟
ホームゲーム



地域イベントでのパネル展

せきぶん治水歴史ウォーク

大河津分水通水100周年・関屋分水通水50周年記念未来につながる事業実行委員会

○2022年に大河津分水が通水100周年を、関屋分水が通水50周年を迎えることから、流域市町村長・新潟県に参画いただき、信濃川河川事務所と信濃川下流河川事務所が事務局となる「大河津分水通水100周年・関屋分水通水50周年記念未来につながる事業実行委員会」を立ち上げ、地域と連携しながら、周年事業を推進しています。

大河津分水通水100周年・関屋分水通水50周年記念未来につながる事業実行委員会 設立総会

日時： 令和3年8月25日(水) 10:00～11:00
 場所： 信濃川河川事務所 大河津出張所 1階会議室
 出席者： 新潟市長、長岡市長、三条市長、加茂市長、見附市長、燕市長、弥彦村長、田上町長、新潟県土木部河川管理課長、新潟・三条・長岡各地域振興局地域整備部長、信濃川河川事務所長、信濃川下流河川事務所長



新潟市長
会長就任



実行委員記念撮影

各市町村長より、信濃川の恵みへの感謝・川の未来を考えたことの大切さを発信するため、色紙にメッセージをいただきました。メッセージに込められた想いを各市町村長より熱く語っていただき、記念事業実行へ向けての機運が高まりました。



新潟市長



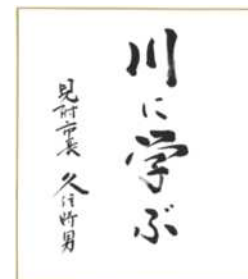
長岡市長



三条市長



加茂市長



見附市長



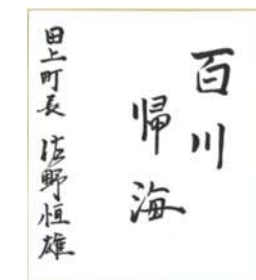
燕市長



五泉市長



弥彦村長



田上町長

分水講演会

信濃川、大河津分水、関屋分水についてより深く知っていただく機会として、2022年2月から、流域の9市町村で、「分水講演会」を開催しています。※第1回、第2回は、「まん延防止等重点措置」のため、動画配信のみに変更。

開催日	場所	テーマ	講師	
第1回	WEB配信	長岡市	中之島の先人達と大河津分水の恩恵	高森 精二 中之島郷土史研究会
第2回	WEB配信	弥彦村	大河津分水と彌彦神社	田邊 幹 新潟県立歴史博物館
第3回	3月27日	田上町	田上町と信濃川の治水	樋口 勲 信濃川大河津資料館
第4回	4月2日	燕市	大河津分水と桜と私	遠藤 麻理 ラジオパーソナリティ
第5回	4月23日	加茂市	大学生と地域の協働による大河津分水の魅力発信	中島 純 新潟経営大学
第6回	5月14日	三条市	大河津分水を巡る 三条周辺の動き	羽賀 吉昭 三条歴史研究会
第7回	5月22日	五泉市	激甚化する 気象災害に備えて	井田 寛子 気象予報士
第8回	6月4日	見附市	川に学ぶ・ふるさとを知る	五十嵐 一浩 三条市立第四中学校 元校長
第9回	6月25日	新潟市	2つの分水と新潟の発展	伊東 祐之 新潟市歴史博物館

詳細は、こちらをご覧ください。過去の講演はYouTubeでご覧いただけます。
<https://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/ohkouzu100th/ohkouzu100th.html>

川でつながる 未来につなげる

2022年8月10日、関屋分水は通水50周年を迎えます！

YouTubeで関屋分水の紹介動画を公開しています。ぜひご覧ください！

関屋分水



関屋分水 通水50周年
1972 - 2022

「知ってほしい関屋分水のこと」

「伝えたい関屋分水のものがたり」



https://youtu.be/9_P-KbSacXc



<https://youtu.be/-Dw7tcEuedU>



関屋分水資料館

関屋分水の歴史や役割をわかりやすくパネルなどで知ることができます。

資料館でも動画を閲覧できます。



関屋分水通水50周年記念堰カードを配布中！



公式Twitterで防災情報や周年事業の情報を発信しています。ぜひフォローをお願いします！

今年度の水防に関する取り組み(予定)

実施時期(令和4年度) 取り組み内容	
4月11日、12日【済】	河川と海岸の安全利用点検 (於:沿川市町)
4月26日【済】	洪水対応演習 (於:各機関)
4月27日【済】	信濃川下流水防連絡会総会 【書面開催】
5月14日	信濃川下流水防訓練 (於:三条防災ステーション)
5月30日	水害に強い信濃川下流域づくり推進協議会 (於:新潟県自治会館)
6月1日~2日	重要水防箇所巡視 (於:沿川市町)
6月5日	信濃川・魚野川総合水防演習 (於:燕市(大河津分水路右岸))
5月下旬	堤防点検 (於:沿川市町)
7月上旬	河川と海岸の安全利用点検 (於:沿川市町)
8月頃(予定)	信濃川水系(信濃川下流)流域治水協議会 (於:未定)
R5.1月~2月(予定)	信濃川水系(信濃川下流)流域治水協議会 幹事会 水害に強い信濃川下流域づくり推進協議会 幹事会 (於:未定)
R5.2月~3月(予定)	信濃川下流水防連絡会幹事会 (於:未定)